

寄稿

「第1回偕行社慰霊祭」に参加して

妻鹿嘉兵

偕行社が主催して、靖國神社における国のために散華された陸海空の将兵の英霊の慰霊顕彰を年1回行うこととなり、その初回の案内を同期生会から戴いた。

折々の同期生会には、つとめて出席していたが、ここのところ平成28年秋、グランドヒル市ヶ谷での出席が最後になっていたので、久しぶりの出席も良からうと思われた。加えて最近の体力の衰えは、歩行速度を見ただけでも顕著であつて、来年の保証はない。偕行社主催の初回慰霊祭でもあるので、今回はともかく参加することとして4月17日当日、最寄の大船駅から東京、新橋駅下車、タクシーで靖國神社へ参上の次第となつた。

慰霊祭は200余名の参加者により、拝殿での祭文奏上、本殿での玉串奉呈など整齊厳肅に行われた。

その後、遊就館の喫茶室に移つての同期生会ということになったが、萩小田君が都合で参加できずに立話しで別れたので、常連の神山君と二人だけの同期生会

となつた。談笑に時を移したが、隣席に4名の二世会の方たちが居られて、何くれとなくお世話を頂いた。二世会には今回の祭典の当初から助力をいただき有り難かつたが、白寿に近い同期一統にとつて二世会はますます頼れる存在になると思われた。